



園長コーナー

待ちに待った園庭あそびが始まりました。

芝生の養生で一ヶ月半、子どもたちには、はっぱが赤ちゃんなのでもう少し待っててね…と、お話していました。こどもたちは毎日、『おひさまにいっぱいあたって、お水をたくさんもらって大きくなってねー♪』と声をかけてくれていました。

そして・・・

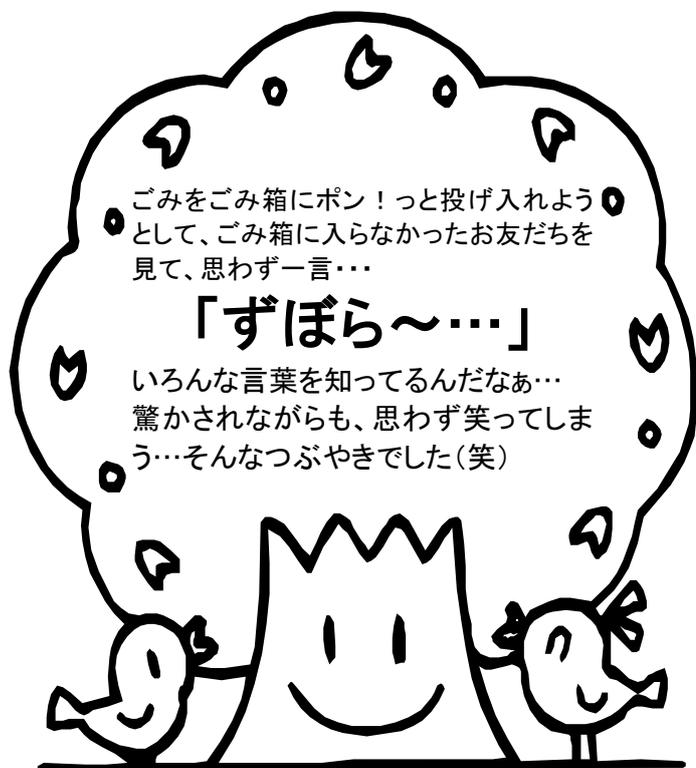
芝生に足を踏み入れた子供たちの中には、「踏んだらかわいそう?」「そっとあそぼー」とやさしい言葉も聞かれました。子どもたちの考え方や感じ方、特に他者に対してやさしい気持ちを持つことができるのは、実体験から学ぶことが多いと思います。

かえで保育園生活の中で様々なことを体験し、一つずつやさしさや楽しさに触れていき、温かい心をつくってほしいと思っています。

にこにこ広場では、心のメッセージを掲示しています。保護者の方々も心のメッセージを書いていただきたくさんの言葉で飾りたいと思います。

事務所の前にカードを用意しています。メッセージをどうぞ!!

引地 美津代



ごみをごみ箱にポン!と投げ入れようとして、ごみ箱に入らなかったお友だちを見て、思わず一言・・・

「ずぼら～・・・」

いろんな言葉を知ってるんだなあ・・・
驚かされながらも、思わず笑ってしまう・・・そんなつづやきでした(笑)

にこにこ広場 6月のテーマは「あめ」です

「はらぺこあおむし」



エリック=カール (著)
もり ひさし (翻訳)

3年程前、京都でエリックカールの絵画展に行き、私はこの絵本の大ファンになりました。

鮮やかな切り絵でインパクトのある絵が次々と、描かれ、物語が歌で展開される絵本です。

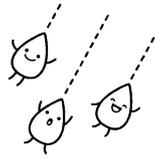
この絵本を子どもたちと一緒に歌うと、最初は自信なさげに歌うものの、「げつようび～♪げつようび～♪」とサビの部分になると、突然、元気よく自信満々に歌い始めます☆

そんな様子がかわいくてかわいくて、何度でも読み続けたいくなる!

そんな絵本です♪



沖守 亜希子

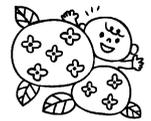


お知らせ



- 年間の行事予定を、おたよりでお知らせします。
詳細については、行事前におたよりにてお知らせしますので、ご確認ください。
- 園便りをホームページに掲載していますが、不具合等あれば、事務所へお知らせください。
- だいち組に新しいお友達が増えます。(男の子2人 女の子1人)
- 「よいこネット」を利用して、緊急の連絡を行いますので、登録をお願いいたします。
よいこネットの登録方法に関しては、別紙のおたよりをご覧ください。

緊急時の保育園の携帯電話は ①080-3862-3352
②080-3865-6154 です。



子どもたちが生活に使う消耗品、以下のものでおうちで眠っているものがあれば、
ご寄附をお願いいたします

トイレットペーパー・ぞうきん・新品のビニール袋・バスタオル

おはなしコーナー

今月は
事務長 辰馬 啓之 先生



「ビオトープも2カ月…」

開園して2ヶ月、まだまだ事務所は落ち着かず、バタバタしたりお待たせしたりすることもあると思いますがご容赦下さい。私自身、事務の仕事をしながら、元気なこども達との関わりを色々と模索しています。

今年はどこで振り返っても激流の最中のような感想になりそうですが、ただ二度とは無いかえで保育園の初年度と思えばエキサイティングな毎日です。

5月に入り気候もよくなり芝生も育ち園庭で遊べるようになりました。併せて、ビオトープもひとまず立ち上がりました。ビオトープにはメダカ、カワムツ、ドジョウ、サワガニ、ヤマトヌマエビ、テナガエビが住んでいます。基本的には西宮や兵庫に生息する生物をと思っていますが、少々地味なのでそのうち金魚が泳いだりしているかもしれません。

5月24日にはメダカの稚魚が泳いでいるのが観察されました。

5mm くらいの小さな生き物、もうボウフラが湧いたか？オタマジャクシ？？とよく見ると魚の形をしていました。安定には程遠い環境下での産卵と孵化、思いがけない出来事に驚くと同時に生き物のたくましさを感じずにはいられません。

こども達にもこの小さな生命の行方を見て、付き合っていく中で色々と感じてもらえたらと思います。

また、テナガエビも3度目の脱皮をして静かに成長中。

目を凝らすと随所に成長や変化が見られるかえで保育園です。

おこさまと一緒にご覧ください。

子どもたちの様子

めばえ



爽やかな風が保育室を駆け抜け、気持ちのいい季節になりました。子どもたちも窓から入ってくる風や、お日様の日差しを感じながら生活しています。

4月はほとんどのお友達が、ごろごろと寝転がって遊んでいたのですが、あっという間にははいはいもでき、つかまり立ちも盛んになりました。ハイハイで部屋中を動き回ったり、おぼつかない足どりで、よたよたと歩いて見せてくれたり、寝返りがとても上手になったりと、かわいい姿をたくさん見せてくれています。

5月になり、待ちに待った園庭デビュー♪ めばえ組のお友達もお外で一緒に遊びました。芝生や土に初めておりるときは、おそろおそろで泣きながらだったお友達も、今では土に触れたり、芝生の上をはいはいしたり、立ってみたりと自由にのびのびと遊ぶ姿が見られます。

また、テラスの南側ではプランターで植栽を始めました。鉢植えも気になる様子でプランターの前にしゃがみこんで、じーっと見つめている姿がとってもかわいいです♪（どうかひきちぎりませんように…（笑））

これからどんどんと外遊びが楽しい季節になっていきます。こまめに水分補給をしながら、小さな虫を見つけたり、冷たくて気持ちいいね☆と水遊びを楽しんだり、季節を感じて遊んでいけるようにしたいと思います。

沖守 亜希子

ふたば



4月の子どもたちは、毎朝泣いていて、お父さん・お母さんたちも胸を痛めながらの登園だったのが、今では笑顔で「バイバイ」ができるようになってきました。「ママは？」「お仕事よ」というと、ふうん…と納得したように、遊びに入れるようになっていて、私たちも一安心です。

「お外に行くよー！！」と声をかけると「ハーイ！」「わぁ！」とうれしい声をあげて、小さなおしりをフリフリ、大急ぎでドアの前まで走ってきます。帽子をかぶるとテンションはさらにアップ。以前はお部屋を出ると、ランチルームや階段へと、くものこを散らしたようになっていたのがうそのよう。テラスまで一直線です。

園庭に時々遊びに来るアゲハチョウやシジミチョウを見つけては追いかけたり、芝生の上にとまっているところをしゃがんでじっと見ている姿はとってもかわいらしいです。また、シャボン玉を目の前で作ってみせると、フワフワと風に飛ばされていく様子を、手をのばしながら不思議そうに眺めていました。

これから公園散歩にも出かけたり、気持ちのよい風を感じながら、たくさんの虫や草花に触れていきたいと思っています。

中山 英子

つぼみ



テラスでの遊びでは温度が高くなると、床が暑くなるため、打ち水しました。そのお水で手型・足型をペタペタ・・・水の気持ちよさを感じました。

窓に虫がとまると、みんなで「むしー！」と飛び立つまでみんなでじーっと興味津々で見えています。大人では見落としてしまいがちな小さな虫や、飛んできた一つのたんぼぼの綿毛も子ども達にとっては大きな発見。そんな発見を「せんせー みてー」と教えてくれます。この言葉を聞くと、私達も嬉しく思いながら一緒に見えています。

そんな水や虫に触れ、いざ園庭へ！ピオトープのお魚やバケツからバケツへお水を運んだり、泥や砂の感触の不思議さや気持ちよさを感じながらおままごとでごはんをつくる子どもたち♪ 汗びっしょりになりながら元気に遊んでいるつぼみ組さんです。

はじめは裸足の感触に慣れず、靴を履いていた子も裸足で元気に走るお友達の姿を見て、少しずつ裸足に気持ちよさを感じてくれています。これからどんどん園庭に出て、さまざまなものに触れて笑顔いっぱい過ごしてほしいと思います。そして、お散歩にも出かけ、いろいろな楽しさを感じていけたらいいなと思います。これからも子ども達の様子をたくさんお伝えしていきますね。

錦織 香奈恵

いぶき・ひかり・だいち



16日から園庭あそびが始まりました。子どもたちにとって待ちに待った園庭開放！！
毎日すべり台や鬼ごっこ・縄とびや砂遊びなどを元気に楽しんでいます。

そんな園庭の一角のどろんこ池では、どろだんごを作ったり、貝を集めたりして遊んでいるのですが、子どもたちの中でブームとなったのが足湯ごっこです。最初はどろだんごを作るために運んできた水を隣の小さな池に入れたところ、そこが足湯に大変身！！それからはみんなで協力してジョーロやバケツで水を溜めている姿が見られました。また入浴剤のように砂を入れて、色の変化も楽しんでいました。そして気がつけば汚れるのが苦手だった子もジャブジャブ。小さなお友達も一緒に入れてあげていました。

また、一口サイズの小さいのから両手いっぱいの特大大サイズまでいろいろなどろだんごを上手に作っている様子も見られるのですが、このどろだんごが翌日になるととても固くなってしまい、危ないのです。そこで、いぶき・ひかり・だいちぐみのみんなでどうしたらいいかをお集まりの時間に話し合いました。子どもたちから様々な意見が出て「作ったどろだんごはその日に片づける」というお約束がみんなの中で決まりました。芝生・砂・泥・水・浜風…子どもたちは様々な自然を感じながら過ごしています。

丹波 優衣